



松ヶ崎小学校コミュニティ・ニュース No.3

第2回学校運営協議会理事会開催

家

令和元年9月26日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

学校運営協議会 第2回理事会

○はじめに

- ・理事長 岩崎 猛彦 氏
- ・学校長 北川 知世

1. アンケートをもとにした自己評価を踏まえて
2. 学校による自己評価に対する学校運営協議会からの評価
3. その他

○終わりに

- ・副理事長 島 浩之 氏

9月4日(水)午後6時より、第2回学校運営協議会理事会を行いました。

今回は、学校から「第1回学校評価結果」を中心に報告し、理事の皆様よりご意見、ご感想をいただきました。

お忙しい中、お集まりいただいた理事の皆様、ありがとうございました。

ここでは、学校からお話させていただいた内容といただいたご意見、ご感想を一部紹介します。

教職員は、子ども、保護者、教職員が行った学校評価の結果を踏まえ、夏休みに研修会を行いました。この研修会では、教職員もワークショップを行い、成果と課題について話し合いました。理事会では、この研修会で話し合った1.「確かな学力」の育成、2.「豊かな心」の育成、3.「健やかな体」の育成などについて報告しました。

報告に対して、学校運営協議会の理事の方々から次のようなご意見をいただきました。

- ・これまでの学校評価は、アンケートからの現状報告で終わっていたが、今年は課題を解決するための具体策まで考えていて、一步踏み出せたことが良い。
- ・アンケートをもとに成果と課題を分析し、それらをもとにして課題の解決策を考える、こういうことをワークショップ形式でやるというのは教職員のモチベーションアップにもつながるだろう。
- ・PDCAをまわす、ワークショップでやっていくということが大きく評価できる。
- ・「質の高い集団づくり」を働き方改革という面で組み合わせていくと、教員の力も高まっていく。
- ・具体策を立てて、やってみてどうだったかという振り返りの場で、どのような手法を用いて研修を進めていくのかも重要になってくる。
- ・具体策には、いつまでに、誰が、何をするのが明記されているのがよい。
- ・アンケートのとりっぱなしで終わらずに、PDCAにつなげている。
- ・ルールを指導するときには「どうやって」だけでなく、「なぜ」を教えるのか、企業の研修や教育場面においても重要とされている。
- ・教職員同士も、お互いに良かったことを真似するのは、よい取組である。
- ・ここに挙げた具体策について、チェックを入れたり、進捗状況を入れると、自己評価がさらに有効になる。

3. その他

- ・令和2年度以降に松ヶ崎小学校講堂横に、災害用マンホールトイレが設置される予定であることの確認が行われました。

7月20日（土）のイベント

この日は、2つのイベントがありました。暑い中ではありましたが、子どもたちにとっては、楽しい1日となりました。

飯盒炊さん

午前中は、少年補導委員会松ヶ崎支部主催の『飯盒炊さん』です。開会式で支部長の北川憲一さん、PTA会長の大森勢津さんにご挨拶をいただきました。

子どもたちは、お米を切ったり、野菜を切ったり、カレーづくりのお手伝いをしました。また、ヨーヨーつりの準備を行いました。

11時過ぎには、おみんなでおいしいカレーをいただきました。少年補導の皆様、PTAの皆様、お手伝いしてくださった皆様、ありがとうございました。



さし踊 講習会

第2回家庭教育講座

主催：松ヶ崎小学校運営協議会 PTA おやじの会

学校運営協議会 岩崎猛彦理事長のご挨拶の後、「DVD鑑賞会」を行いました。松ヶ崎の歴史、古き良き伝統と風習、松ヶ崎の人々の思いやくらしがよくわかりました。

その後、踊りの練習を行いました。参加者の5年生の児童の中には、かがやき学習で学んでいるせいか、12拍子のステップで輪になって上手に踊っている子もいました。ご協力いただいた各団体の皆様、ありがとうございました。



4年 かがやき学習「人・水・ふれあいプロジェクト」

9/11（水）、かがやき学習（総合的な学習の時間）「人・水・ふれあいプロジェクト」のポスター発表会を行いました。グループで調べてきたことを、ポスターセッションの形式で、発表しました。

子どもたちは、聞き手に分かりやすく伝えようと話していました。この時にも、いつもお世話になっている学校運営協議会理事長の岩崎猛彦さんにお越しいただき、発表の様子を参観していただきました。そして、子どもたちに励ましのお言葉をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

これからも地域を愛し、松ヶ崎のきれいな水を守って行ってほしいです。

